

福津市新設小学校基本設計 ワークショップニュース No.5

2023年11月発行

新しい学校づくりに向けた話し合いを進めています。

宮司地区に建設準備中の新設小学校の基本設計の第2.5回地域ワークショップを11月10日に宮司コミュニティセンターで開催。臨時開催となったワークショップでしたが、20人が参加し、「地域との接点を考える」をテーマに、話し合いました。

第2.5回地域ワークショップ内容

- ① これまで出た意見の反映状況の説明
- ② テーマ「地域との接点を考える」
 - (1) 建物の中の使い方を中心に
 - (2) グラウンドを中心に

◆これまで出た意見の反映状況 一部抜粋 第2.5回ワークショップ時点◆

地域ワークショップを含め、教員ワークショップなどで出た意見が図面にどのように反映されているか、また反映されていない場合は、どうして反映できなかったかなどの反映状況を説明しました。

- ◎：現プランで対応済
- ：現プランを改良して対応可
- △：保留
- ×：対応不可



これまでの意見について反映状況の説明を受ける参加者

意見	反映状況
全員が集まるランチルーム	× 1学年当りの児童数が非常に多いため、スペース的に困難。
園児が児童と遊べる中庭 (ミニ公園)	◎ 低学年用サブグラウンド(緑の庭)を設けた。
トイレの種類を多く (男、女、多用途、緊急)	○ 多目的トイレ(みんなのトイレ)を各階に配置した。 マンホールトイレの設置は今後検討。
バルコニーがほしい (プランター栽培、雑巾干し)	○ 建設コストの増大から基本的にはバルコニー無しとする。 テラス・光庭等の安全に出られる屋外スペースを別途設ける。
バルコニーは無い方がよい(危険)	
トイレは明るく採光の取れたトイレに	△ 外部に面する部分は教室を優先するため、配置上困難。 可能な限り採光を確保する。

◆ワークショップで話し合ったこと◆

参加者（各テーブル）から出た意見 ①「地域との接点を考える（１） 建物の中の使い方を中心に」

<意見の一例>

- ・地域開放が土日と放課後に限定されているため、平日も気軽に使用できれば利用頻度が高くなると思う。
- ・家庭科室中央をアイランドキッチンにして皆が集まれるようにして欲しい。
- ・ガラス張りの家庭科室は雰囲気が良い。
- ・家庭科室と屋外デッキが一体的に使えるようにして欲しい。
- ・交流サロンをより広くして、天井高を高くしてほしい。
- ・交流サロンをメディア発信の場（スタジオ等）にしてはどうか。
- ・交流サロンとトイレ出入口が近く、長居したくない空間。



地域開放エリアについて図面を見ながら話し合う参加者

参加者（各テーブル）から出た意見 ②「地域との接点を考える（２） グラウンドを中心に」

<意見の一例>

- ・芝生の運動ひろば・グラウンドにして欲しい。(熱中症対策・砂埃の飛散防止)
- ・運動ひろばとグラウンドの間に手洗い場、足洗い場が欲しい。
- ・運動ひろばのバスケットコートは、ドッジボールコートの方がいい。
- ・シンボルツリーは運動ひろばの中心に設置するのではなく、外周部の方が使いやすい。
- ・運動ひろばの芝生部分を丘形状にして欲しい。
- ・児童数が多いので昇降口前の庇を大きく出してほしい(雨天待機など)。
- ・人が集まる円状のベンチなど、各所にベンチが欲しい。



グラウンドについて図面を見ながら話し合う参加者

■今後のワークショップの予定■

第3回(最終)予定 12月中旬頃
テーマ(仮): 作成図面の説明

■お問い合わせ■

福津市教育委員会 教育総務課
TEL: 0940-62-5092
FAX: 0940-43-9004
Mail: kyoiku@city.fukutsu.lg.jp